

校長室便り

平成30年8月31日

丸山台中学校

校長 榎田 卓央

「命にかかわる危険な暑さ」「今年の夏の暑さは災害である(気象庁)」「酷暑」「猛暑」・・・。
さまざまな形で表現された暑い夏が、ようやく過ぎ去ろうとしています。今年の夏は本当に暑かったです。国内では最高気温が40度越えを記録する日が何度もありました。ここ横浜でも最高気温が35度を観測する猛暑日がありました。また各地で熱中症による死亡事故も発生しました。本当に残念なことです。また、関西での大地震のあと西日本を中心に大きな被害があった豪雨や、今までの経験が通じないと言われた台風の襲来など、“自然大災害”を通して、自然の威力の大きさを改めて考えさせられた夏だった気がします。被害に遭われた方々にお見舞いを申しあげると共に、一刻も早い 復旧復興を願います。

今年は特に、梅雨明けがいつもの年より約3週間も早く6月下旬だったこともあり、夏の暑さが厳しく期間も長いものになりました。この暑さ、幾分和らぎ始めていますが引き続き、適切に水分や塩分を補給して、熱中症対策を怠らないようにしていきましょう。

さて約5週間の夏休みが終了しました。この夏休み、生徒の皆さんにとってどのような日々だったでしょうか？

暑い夏が終われば、実りの秋。今号は学びについて考えてみたいと思います。

丸山台中学校では9月6日から前期期末試験が実施されます。生徒の皆さんは一人ひとり、自分の目標を掲げて、計画的に日々学習し、試験に臨んでくれると思っています。各自が、やる気モードになって、自分自身の課題に向き合う姿勢作りが大切です。高い意欲をもち続けてください。

そして試験の結果をしっかりと、そしてある意味謙虚に受け止めて、得意なことはさらに得意になるように、不得手（ふえて）な部分は改善して前に進めるように頑張りましょう。

さて「なぜ勉強しなくてはいけないのか？」と考える生徒も多いかと思います。勉強もなく試験もない日々は、どんなに楽だろうかと考えることもあるでしょう。私も子どもの頃、そう思ったことは否定しません。

「学ぶ」ことは、自分の進学・進路のためもあるかも知れませんが、それだけではなく、その後の自分自身の人生をより豊かにするために、また、やり甲斐のある仕事や人としての役割を得て、社会に貢献する、そして自分自身の価値を生かせる未来を創造することにつながると、大人になって気がつきました。

人は、誰しものが何万もの遺伝子を持ち、その中から自己のもつ能力や適性が発揮されるとい話を、ある遺伝子学者の講演会で聞いたことがあります。それを一人ひとりが伸ばし、磨き、鍛え上げていくことにより、自の人生が方向づけられると言われていています。「伸ばし、磨き、鍛え上げる」ことが学び＝学習になるのです。

家庭での予習・復習や学校での授業は、ただ単に知識を豊かにするだけでなく、将来成人した時に「社会に貢献するための基礎」「社会生活でいかす技術の磨き」「より良い人生を送るための教養」を含めて、みなさん一人ひとりに必要な資質を高めることにつながります。選り好みをしないで、まんべんなく幅広い分野の知識を学び、そして自分自身で思考し表現する力を獲得して欲しいと願います。

電子・情報・通信機器や太陽電池、セラミックス、医療用製品等の開発メーカーである京セラという会社を創った稲盛和夫さんという実業家があります。この方は、会社の本業の他に、携帯電話会社設立や経営危機に陥った航空会社を再生させたことでも知られる人です。この方は、「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」(人生の方程式)という考え方を通し、自身の人生を振り返っています。能力は持って生まれた先天的(頭脳・健康・運動神経等)なもの、熱意は自分自身の意志、そして考え方(人としての生きる姿勢)が、プラス思考の積(かけ算)によって大きな結果として、その人の人生に表れてくるという考え方です。

中学生の今、学んでいることが自分の未来の基礎・基盤を確実に構築していることを強く意識して欲しいと願います。今出来ることには、まずは前向きに取り組むこと、それを大切にしていってください。

今後の主な予定

8月28日	横浜子ども会議(港南区役所)
8月28日～31日	教育相談
9月 6日～9月 7日	前期期末試験
7日	(試験終了後)3年生部活動卒業アルバム撮影
10日	朝会
11日	3年生保育体験開始
15日～	最終下校時刻 17時30分に変更
27日	個別支援学級合同体育大会(三ツ沢競技場)※予備日28日

《スクールカウンセラー》

8月31日、9月14日、21日、28日